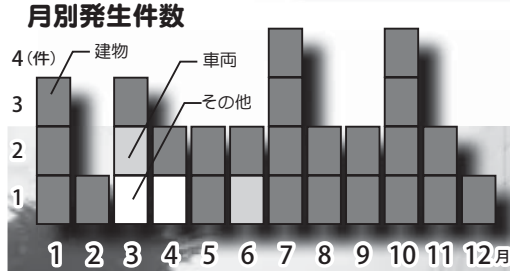




# 昨年の発生件数は28件



平成27年、江別市内で発生した火災は28件で、建物火災が24件、車両火災が2件、その他が2件となっています。これらの出火原因については、トツプが「ストーブ」で3件、次いで「こんろ」と「電灯・電話などの配線」、「放火・放火の疑い」が各2件、あとは1件ずつですが、「たばこ」「排気管」「電気機器」「配線器具」「火あそび」「溶接機・切断機」「灯火」などとなっている、暖房器具によるものが、高い比率となっています。

このほか、「不明・調査中」のものも8件あります。  
**住宅火災で負傷者6名**  
 昨年の火災で生じた損害額は合計で4483万円で、うち、建物火災の損害額が4469万6千円で全体の99%を占めています。建物火災24件のうち17件が住宅で、平成26年に比べ5件増加しています。また、昨年は火災による死者は、幸いおりませんでした。負傷者は7名で、うち、6名が住宅火災によるものです。

## 空気が乾燥する 時季に注意

月別の発生件数は7月、10月がそれぞれ4件で、次いで1月、3月が各3件、2月、12月が各1件で、残りの月はいずれも各2件となっています。昨年は季節に関係なく発生していますが、過去の傾向から空気が乾燥する4月や10月頃に火災が多く発生しています。

## 一昨年より9件の減

火災発生状況を平成26年と比較すると、件数で9件、被

害金額では約16万円の減となっています。死者は1名の減、負傷者は5名の増となっています。

また、直近5年の火災発生件数を見ますと、平成23年が43件、平成24年が35件、平成25年が42件、平成26年が37件、平成27年が28件と減少傾向にはなっています。

例年、火災原因はコンロやたばこ、ストーブなど身近な火のもとであることが多く、ちよつとした心がけで防ぐことができるものばかりです。大切な命を守るため、身の回りの火のもとにはご注意ください。

【詳細】 予防課予防係  
 ☎382・5430

## 新たな福祉施設の開設は、消防に〆相談を

近年、江別市内でもさまざまな福祉関係の施設が増加傾向にあります。アパートなどの賃貸物件の一部に入居しての開設や、中古物件（住宅を含む）を新たに取得（賃貸）して開設する際、小規模であっても、その規模や事業内容によっては、消防法令上の

規制によって新たに消防用設備などの設置や、さまざまな届出が必要となる場合があります。

江別市内で新たに福祉関係の施設を開設する際は、事業主の方は事前にご相談ください。

【詳細】 予防課消防設備担当  
 ☎382・5430

## 農家のかあさん土曜市



江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会では、市内の女性農業者が安全安心にこだわった江別産の手作り農産加工品の今年度最後の販売を行います。

今回は、以前から3つ以上の来場スタンプの押印された来場者カードをお持ちの方を対象に、農産加工品特産品などが当たる抽選会も行います。

●日時 3月12日(土)10時～14時(抽選会は10時15分～)  
 ●会場 江別市河川防災ステーション(抽選会は2階会議室)

【詳細】 農業振興課農畜産係  
 ☎381・1025

## 気象情報と地震情報は選択可能に

昨年9月から開始した防災情報提供サービスが、配信内容を選択できるようになりました。

従来は、①気象情報（大雨や暴風雪時の「特別警報」「警報」など）、②地震情報（震度3以上）、③避難情報（市が発令する「避難準備情報」「避難勧告」「避難指示」）、④その他緊急のお知らせ（大規

模断水情報など）でしたが、今後は、①気象情報と②地震情報の配信については、選択できるようになりました。

なお、③避難情報と④その他緊急のお知らせは従来どおり配信されます。配信内容の選択を希望する方の変更方法は、次のとおりです。

### ●メールアドレス登録の方

配信されたメールの最後に、「登録内容の変更・配信解除は次のリンク先にアクセスしてください」と記載されたりリンク先が表示されますので、これをクリックし、画面の表示にしたがって操作してください。



### ●電話・ファクス登録の方

市役所案内窓口か市ホームページから入手できる利用申込書に記入の上、危機対策室（〒067-8674 高砂町6・FAX 381-1070）へ提出してください。

詳しくは市ホームページ「防災・災害情報」↓「防災情報提供サービスをご利用ください」をご覧ください。

### 【詳細】危機対策室

☎ 381-1407

## えべつプレミアム商品券アンケート

# 約3億4千万円の消費喚起効果

市と商工会議所では、昨年販売した「えべつプレミアム商品券」の消費喚起効果などを検証するため、市内5000世帯を無作為抽出してアンケート調査を実施しました。

1798世帯からいただいた回答の詳細は、次のとおりです。

### 消費喚起効果

商品券の利用状況のうち、商品券をきっかけとした普段の買い物以外の商品・サービスへの利用は28・3%であり、

それに伴い追加で支出した現金などを合わせると商品券利用総額に対して38%の新たな消費喚起効果がありました。今回の商品券総利用額に換算すると約3億4千万円の消費喚起効果となります。

販売方法については、次のとおりです。

### 販売対象者

- 「市民限定」 64・5%
- 「制限無し」 17・7%
- 対象者の年齢制限
- 「制限無し」 56・3%
- 「制限あり」 35・8%

### 販売方法

- 「全世帯向販売」 55・4%
- 「予約販売」 31・1%
- ご意見に関しては「2次販売で購入できなかったため購入機会を確保してほしい」と



いう意見が多く、「1次販売のような全世帯に向けた引換券による販売や予約販売に際しても多くの人が購入できるような抽選方法の実施」などの意見をいただきました。アンケートの集計結果やいただいた意見・提案は、今後の業務推進に活かしていきたいと考えています。

なお、詳細なアンケート結果・効果検証については、市および江別商工会議所ホームページで公開するほか、市役所、江別商工会議所、各公民館、市役所大麻出張所、豊幌地区センターで配布しています。

【詳細】商工労働課 ☎ 381-1091 江別商工会議所 ☎ 382-3121

## えぞ但馬牛の直販



市も支援している江別のブランド牛である「えぞ但馬牛」の食肉の直販が行われます。

高品質な黒毛和種の牛肉が買えるとおあって、オープン時には長蛇の列ができる程の大人気です。

食べてみると価値がわかる江別のえぞ但馬牛、この機会にご賞味ください！

●日時 3月18日(金)11時～17時（※売り切れ次第終了）

●会場 市民会館小ホール  
【詳細】えぞ但馬ビーフクラブ（道央農業協同組合畜産課内） ☎ 370-1613

